



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容、指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	小中一貫教育	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫	
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の生徒に応じた学習指導（英語での習熟度別少人数授業、数学学力向上支援講師の活用）</li> <li>分かる授業の実践</li> <li>補充教室</li> <li>次期学習指導要領が目指す授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の着実な実施</li> <li>授業時数の確保</li> <li>年間指導計画、評価計画の早期立案と公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9年間を見通した小中一貫研修の推進と課題改善カリキュラムの活用</li> <li>学習習慣を定着させる指導法の研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科部会による組織的評価改善</li> <li>自己評価による主体的な学習の継続</li> <li>評価方法の公開</li> <li>授業アンケートを生かした授業改善</li> <li>学校評議委員会における評価改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画、評価計画の保護者への公開</li> <li>小学校との授業参観交流や指導方法の連携</li> <li>学校公開、授業参観</li> <li>地域講師の活用</li> <li>家庭学習習慣の確立</li> </ul>	
		<b>校内研修</b>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力・豊かな心を育む指導の充実</li> </ul>			

**授業改善策の検証方法**

- 授業アンケートを実施し、各教科部会や分掌部会で組織的に授業改善策を検証する。
- 校内研修会において、「主体的に学び活動する児童・生徒を育成する小中一貫教育～9年間の見通しを立てた基礎基本の学習と心の交流活動を通して～」のもと小中の円滑な接続を図る上での9年間の見通しを立てた効果的な指導方法を検証する。